

# うじたわら

## 議会だより

No. 94  
2018.2.1



### 《目次》

定例会.....	2 p～3 p
表決結果.....	4 p
一般質問.....	5 p～15 p
委員会報告.....	16 p～18 p
インタビュー(守山航平さん).....	19 p

### =出初式=

色どり鮮やかに防災を誓う放水訓練。今年も地域の安全・安心を託します。

# 12月 定例会

# 始動 南北線土地購入費 96,591千円

平成29年第4回定例会は12月6日から20日まで15日間開催した。予算関係10件(補正予算)、条例関係4件(改正4件)、一般議案2件が提案され原案通り可決した。一般質問には10人の議員がたち、活発な議論を展開した。

## 総務建設常任委員会

南北線の土地の取得  
(議案第72号)

問 土地の取得価格については、鑑定評価を委託していると思うが、1者、若しくは複数者に依頼しているのか。

答 1者に委託している。

問 固定資産評価に係る標準地の評価額と比較して、高いように思うが、当該土地の取得価格は適正か。

答 鑑定価格に基づくものであり、適正な価格であると認識している。



町道南北線

### 討論

#### 反対

(山本精議員)

町道南北線道路用地の取得金額は、1㎡単価1万6千7百円であり高額。土地鑑定は1者しか行われておらず、複数の鑑定が必要。議案審議においては資料が不十分であり、納得できず、これでは住民に説明できない。

#### 賛成

(浅田昇弘議員)

町道南北線は、本町が進める新都市創造ゾーンのメイン道路であり、国道307号と都市計画道路宇治田原山手線を結ぶ幹線道路である。このように必要不可欠な非常に重要な道路となることから、1日でも早い完成を望む。

# 新しいまちづくりへ

# 新庁舎関連事業

## 予算特別委員会

予算特別委員会で審査した一般会計等の補正予算10議案、条例改正3議案の計13議案全てを可決すべきものと決した。

一般会計補正予算(第4号)  
(議案第66号)

### 公共交通利用推進事業

公共交通利用推進事業について、趣旨や内容から観光施策の部分が非常に大きいと判断するが、次年度以降の計画を

含め、地域公共交通会議での議論はどうなっているのか。

事業者への要望と観光周遊バス運行など観光

施策の実施が路線バスの延伸につながったものと考えているが、地域での利用と観光分野での利用促進を十分視野に入れ、



町内を走る路線バス

事業展開していきたい。

バスの発着となる新田辺駅に、本町の観光PRを実施しているのか。

ハートを探す旅のPR

ポスターを作成し、JR奈良線の主要駅において取り組んでいる。今後は、近鉄についても検討していきたい。

### 就学援助・奨励事業

就学援助・奨励事業について、近隣市町の実施状況はどうなっているのか。また、新小学校1年生への周知方法についてはどうしていくのか。

山城教育局管内において意見交換を実施しており、ほとんどの市町で実施すると聞いている。

また、2月の入学説明会において、保護者への周知を図りたいと考えている。

特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正(議案第80号)

財政の厳しい折、他

市町においては特別職の報酬を減額しているところがあるが、どう考えるか。また、報酬審は開かれたのか。

報酬審においては、町長等の報酬額について諮問するものであり、期末手当の改正についての報告を行い意見は伺うが、法改正に基づく改正であることを理解いただきたい。

### 討論

#### 反対

先示された財政シミュレーションによれば、今後宇治田原町は非常に厳しい財政運営を迫られることとなる。そんな中、財政が豊かな久御山町の特別職よりも高額の期末手当を、さらに引き上げることに賛成できない。

(今西久美子議員)

### 各会計別補正予算

(千円以下切捨て)

会計名	補正額(当初)	補正額(追加)	補正後の予算総額	
一般会計	2,253 万円	648 万円	47 億 7,052 万円	
国民健康保険特別会計	53 万円	13 万円	13 億 7,726 万円	
介護保険特別会計	△ 273 万円	22 万円	7 億 4,563 万円	
公共下水道事業特別会計	94 万円	25 万円	6 億 7,688 万円	
水道事業会計	収益的支出	△ 21 万円	18 万円	2 億 8,471 万円
	資本的支出	16 万円	11 万円	2 億 6,216 万円

定例会

# 議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口重	松本	垣内	馬場	浅田	原田	山本	藤本	山内	今西	谷口整
予算	議案第66号	一般会計補正予算(第4号) (人件費、公共交通利用推進事業の追加など) 【22,533千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第67号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第3号) (人件費、電算システム開発費の追加など) 【539千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第68号	介護保険特別会計補正予算(第2号) (人件費の減額、介護保険システム運営費の追加) 【2,730千円減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第69号	公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) (人件費の追加) 【941千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第70号	水道事業会計補正予算(第1号) (人件費の減額) 【収益 212千円減額 資本 164千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第74号	一般会計補正予算(第5号) (人件費の追加) 【6,480千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第75号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号) (人件費の追加) 【138千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第76号	介護保険特別会計補正予算(第3号) (人件費の追加) 【220千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第77号	公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) (人件費の追加) 【256千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第78号	水道事業会計補正予算(第2号) (人件費の追加) 【収益 184千円追加 資本 113千円追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第71号	町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (公営住宅法施行令等の一部改正に伴う、条項整理)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第79号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う給料表、期末勤勉手当の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第80号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う期末手当の改正)		✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第81号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (法律改正に伴う期末手当の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
その他	議案第72号	土地の取得について (町道南北線 道路用地 約5,783㎡)	✓	✓	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○
	議案第73号	町営土地改良事業(平成29年災害復旧事業)の実施について (土地改良法に基づく議会の議決 2カ所)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

表決結果

◎田中議長は賛否同数以外は表決に加わりません

※討論については、P. 2～3に記載しています

# 一般質問

# ズバリ! 町政を問う

12月11日・12日



## 一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

	質問者	質問事項
1	垣内秋弘 (P.6)	1. 平成30年度の予算編成について 2. 農業政策について 3. 高校生通学費補助について
2	藤本英樹 (P.7)	1. ハートのまちPRについて 2. ふるさとまつりの実施について
3	浅田晃弘 (P.8)	1. 観光行政について 2. 住民サービスについて
4	松本健治 (P.9)	1. 山手線の早期全線開通について 2. 町主催・共催イベントの見直しについて 3. エコロジーの推進について
5	山本 精 (P.10)	1. 防災対策について 2. 路線バスについて

	質問者	質問事項
6	山内実貴子 (P.11)	1. 健康対策について 2. 教育負担の軽減について 3. 環境、ごみ対策について
7	今西久美子 (P.12)	1. 放課後児童健全育成事業について 2. 新庁舎について 3. 福祉センターについて
8	谷口 整 (P.13)	1. 新庁舎について 2. 学力向上について 3. 入札について
9	馬場 哉 (P.14)	1. 空き家対策について 2. 子ども子育て支援
10	原田周一 (P.15)	1. 公共交通 2. 高齢者介護・福祉

## 傍聴のご案内

宇治田原町議会の本会議を傍聴しませんか。傍聴券は本会議当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>) をご覧いただくか、議会事務局 (☎ 88-6641) までお問い合わせください。

# 30年度予算編成の考え方・重点施策は

## 【答】第5次総計、創生総合戦略に基づき編成



垣内秋弘  
議員

### 【質問】

平成30年度は山手線及び新庁舎建設並びに関連工事、教育、子育て支援、福祉・介護施策等々、本町の将来を展望する重要な年であるが、予算編成の考え方、重点施策は。

線道路の整備、新庁舎建設など、まちづくりの根幹をなす事業が動き出す年であり、第5次まちづくり総計及び創生総合戦略に基づき、予算編成を行う。

### 【質問】

予算の中で、新庁舎建設は一部の住民が反対さ

れているが、住民の大半は期待している。ただ、財政面で厳しい折、節約できるところは節約し住民のニーズに應えるべきである。また、山手線の町整備区域の細部計画の提示を早急に。

### 【答弁(町長)】

必要な機能は確保しつつ

つも、コスト削減につながるように規模、構造、設備等をしっかりと精査し住民にご理解・納得いただけるものをご考えている。山手線の町整備区域のうち南北線までは府事業と合わせ、先線は早期に示していく。

## 減反制度廃止に伴うコメ作りは

## 【答】関係団体と連携して仕組みを構築

### 【質問】

平成30年度から減反制度が廃止されコメ作りが無制限でスタートするが、需要と供給のバランスが崩れ、コメ生産はも

とより、荒廃地が益々増

加することを懸念する。本町における今後のコメ作り政策をどの様に進めていくのか。

### 【質問】

保護者の経済的負担を軽減し、本町に抵抗なく移住していただくために、通学費の全額補助を早期に実施すべきである。

### 【答弁(町長)】

子育て世代への支援は重要だが、他に数々取り組んでいる中で、今年度改正した制度を運用し効果検証を行う時期であると考えている。

## 高校生通学費の早期全額補助を 【答】先ず改正した制度の効果検証を行う

【答弁(産業観光課長)】  
京都府と連携する中で地域の作物作付け方針や、農業者の経営計画の参考となる各種情報の積

極的な提供等を行い、需要に応じた生産を農業者が主体的に対応できるように環境整備を進める。



整備が進む新庁舎予定地



バス通学する高校生

# ハートのまちPR方法は

## 【答】様々なプロモーションをパッケージで進めていく

【質問】

「やすらぎ・ぬくも

りを再確認し、PR推進して

ていく。

【質問】

具体的には、プロジェ

ハート型の地形と正寿

【答弁(企画財政課長)】  
「ハートのまち」PR強

化による活性化は、定

る町ブランドの発信を進

クトチームの設置、大学

院の猪目窓が話題を呼

住・移住促進につながる

め、まちの活性化や定

生によるPR方策の検討、

移住・定住ホームページ

この機会に、SNSを

しているが、その進捗状

移住・定住ホームページ

好の機会であり、ハート

活用した情報発信や、関

況と効果は。

のリニューアルや、ふる

型の茶缶、木製コース

連商品設備開発に必要な

【答弁(企画財政課長)】

成・販売などのプロモ

ター、うちわなどの製作

支援を行い、住民、事業者

本町の「いいところ」

シヨンをパッケージで進め

検討を。

が一体となる仕組みづ

【質問】

「ハートのまち」PR強

化による活性化は、定

たにも重要である。

【質問】

【答弁(企画財政課長)】

【答弁(産業観光課長)】

【答弁(産業観光課長)】

【質問】

【答弁(産業観光課長)】

【答弁(産業観光課長)】

【答弁(産業観光課長)】

【質問】

【答弁(産業観光課長)】

【答弁(産業観光課長)】

【答弁(産業観光課長)】

【質問】

【答弁(産業観光課長)】

【質問】

【答弁(産業観光課長)】



来訪者に人気の正寿院猪目窓



藤本英樹  
議員

## 夏まつり実施検討を 【答】ハードルは高いが関係機関と協議していく

【質問】

ふるさとまつり出店・

参加・販売実績は。

【答弁(産業観光課長)】

当日雨天にも関わら

ず、29者が出展、町内外

から1,100名の来場

をいただいた。販売実績

は、お茶や観光PRを目的

としているため把握して

【質問】

新たな夏のイベントと

して盆踊り大会を開催

し、フィナーレに打ち上

げ花火の実施を検討でき

ないか。

【答弁(産業観光課長)】

花火大会が開催された

時期があったが、安全対

策上問題が生じ、盆踊り

大会に変更された。各地

域の夏祭りと重複し、参

加者数が減少したためふ

るさとまつりに移行され

た経過がある。

移行判断した時と大き

な変容がないが、住民要

望が高い花火に関して

は、関係団体の意見を確

認する。



ふるさとまつりの様子

# お茶の京都事業交流拠点の運営は

## 【答】町も全力でバックアップをする



浅田晃弘  
議員

【質問】

「お茶の京都」事業で本町の重点的交流拠点である湯屋谷の共同茶工場跡をリノベーションしているが、どのような交流拠点を目指しているのか。

【答弁(産業観光課長)】  
永谷宗円生家を中心とした湯屋谷地域のにぎわ

いと地域活性化を目的

に、地域の声を集めて描いた未来予想図「やんたん未来プラン」に基づき、住民が地域の魅力を再確認し、誇りを感じる事ができる地域づくりを達成する施設を目指している。

【質問】

町としてどのような管理・運営方法を考えているのか。

【答弁(産業観光課長)】  
町の施設と位置付けた上で、指定管理者制度による維持管理が望ましいと考え検討を進めている。

【質問】

この施設の運営等の成功に向けて町長の思いは。

【答弁(町長)】  
施設の管理・運営面については、さまざまな形で支援し、町も全力でバックアップする中、「日本緑茶発祥の地宇治田原町へ行くならまずここへ」と言われる魅力あ

る地域を目指していきたいという思いでいっぱいである。

【質問】

観光ルートについて、

観光周遊バスにより湯屋谷交流拠点で降り、ここを起点として永谷宗円生家、大福谷の茶園畑を巡り「家康伊賀越えの道」を散策し、奥山田の正寿院・遍照院へと続く道を

「お茶の香り街道」として来訪者を誘導しては。

【答弁(建設事業部長)】  
観光周遊バスのコースやダイヤの調整とともに、チラシ等によるPRの内容についてもしっかりと対策を講じていく。

## 窓口サービスの向上を

## 【答】より親身な対応をめざす

【質問】

各種証明書の発行に伴う窓口手続きについて、高齢者や障がい者を対象にしたタブレットを使った窓口受付サービスを実施しては。

【答弁(総務部長)】  
情報化社会の進展によ

り、社会環境が変化して

いる中、窓口対応全般において、速さや正確さが求められ、より親身な対応の重要性を認識しており、証明書発行業務に特化せず、全庁的な対策として導入に向け、検討していきたい。



お茶の京都事業交流拠点イメージ図



待たれるタブレットを使った窓口受付



# 山手線の全線開通への見通しは

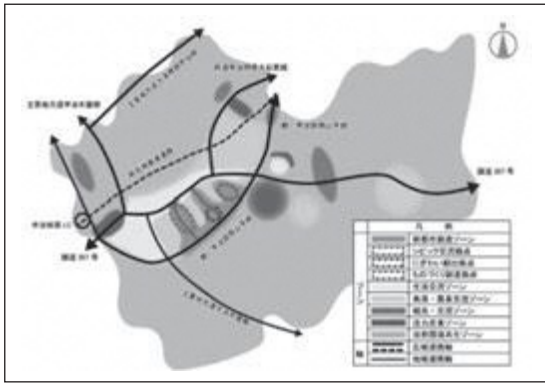
## 【答】まず第一期工事をやり遂げて

【質問】

山手線の第一期事業計画では新市街地までであり、平成33年の完成予定では不十分である。全線開通に向けての、進捗状況と見通しは。

【答弁】

民会議」との意見交換の場です。今回の第一期事業化の終点の新市街地には、新庁舎も予定されており、1日も早い完成を目指すとのお考え方が示された。全線開通に向けては、新市街地に続く土地活用・沿道利用等の新



うじわたらの未来のかけ橋



松本健治  
議員

しいまちづくりを実現することが、早期事業化につながる。第一期と共に進める。工事に続き、全線開通に向け、住民会議の皆さん

## 「ふるさとまつり」の大幅な見直しを 【答】町の一体感の醸成を図る

【質問】

毎年「ふるさとまつり」の半月後に「商工祭」があり、連続して大きなイベントを開催するならば、統合開催し「日本緑茶発祥の地」として町内外にも広く発信するなど、コンセプトも含め大幅な見直しを。  
【答弁(町長)】  
イベントをさらに盛り上げるため、町も一緒に

なって知恵を絞り、新たなチャレンジを生み出し、全国へ発信していくことは、活気あるまちづくりを進める上で重要なこと。「オールうじわたら」で、多様な人達が主役となり、まちの一体感を醸成し機運を高めるようにすることも、町長の大切な役割だと感じている。

【質問】



捨てるごみも資源に

## 古紙等の回収の意識啓発を 【答】資源循環の仕組みから再啓発

【質問】

リサイクル資源として、本町でも長年古紙等の集団回収を、各区・自治会の協力の下に実施されてきた。しかしここ5年間で数量的に20%の大幅な減に。エコロジーの視点から意識の啓発を。  
【答弁(建設環境課長)】  
古紙等の集団回収につ

いては、引き下げていた補助金を平成26年から再び増額し、毎年発行してきたごみの出し方チラシでも啓発を行っている。本町全体的に減少傾向にある。資源循環の仕組みを今一度理解できるように、広報媒体を活用した再啓発を行う。

# 川の浚渫工事、府に強く要望を

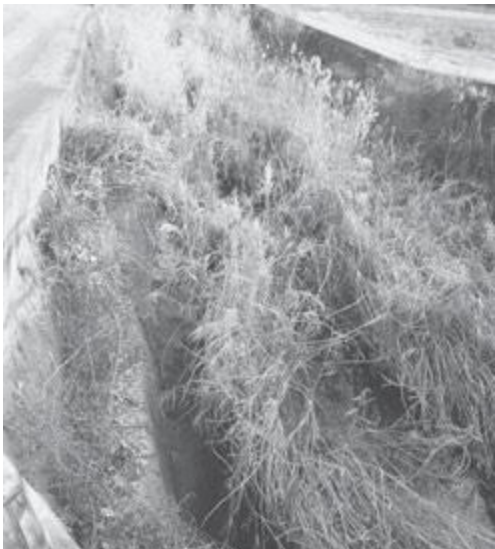
## 【答】常に要望をしている



山本 精  
議員

### 【質問】

近年、今までに経験したことのないような災害が全国各地で発生する中、いつ、どこで大規模災害が起こるか分からない現状である。今年、京都府内でも甚大な被害が発生し、笠置町や南山城村で茶園畑などが大きな被害



雑草が生え茂る田原川

を受けている。とくに最近「線状降水帯」での被害が大きくなっている。

2013年の豪雨により、田原川が増水し、その影響で宇治田原小学校敷地の一部が浸水した。

小学校体育館は風水害時指定緊急避難場所に指定されている。また田原川

を含むあらゆる川で川底に土砂が溜まり、雑草が生え茂り、盛りあがっている。川の浚渫の進行状況は。

【答弁(建設環境課長)】学校敷地の排水路につき、も常に要望はしている。

【質問】今年2月の京都京阪バスのダイヤ改定により、バスの運行が大幅に減便になった。バス利用者からは、非常に不便になったとの声を聞いている。特に立場線は昼間や夜間の時間帯は今まで30分

## 高齢者の外出支援にバス代補助等を【答】関係各課と連携し進める

### 【質問】

今年2月の京都京阪バスのダイヤ改定により、バスの運行が大幅に減便になった。バス利用者からは、非常に不便になったとの声を聞いている。特に立場線は昼間や夜間の時間帯は今まで30分に1便あったのが1時間に1便となった。町外に出る公共交通が京都京阪バスしかない本町にとつて、バスの減便は大きな影響がある。利用者の減少による減便で、ますます不便になり、さらに利用者が増減するということ悪循環におちいつている。路線バスの利用者を増やすための一つの施策として高齢者の外出支援、健康増進を兼ね、高齢者の路線バス代の補助等をしては。



町内を運行している京都京阪バス

【答弁(建設環境課長)】

京都京阪バスが運行する立場線の便数減については、バス事業者と協議し、町長自らも嘆願したが、減便を余儀なくされたことは誠に残念。

今後、より一層の減便とならないよう利用促進対策を考えている。

路線バスは、鉄道のない本町にとって町外へとつながる公共交通であり、これを支援し、利用促進することは重要なことと認識しているので高齢者の外出支援については、健康増進の観点も踏まえ関係課と連携し、考えていく。

# がん予防への健康対策は

## 【答】がんリスク減少へ更なる事業を展開



山内実貴子  
議員

【質問】

本年閣議決定された第3期がん対策推進基本計画で、がん対策の第1の柱に置かれた「がん予防」について、目標を持って健康的に過ごすための対策も含め、町として更なる展開は。

【答弁(健康児童課長)】

本年閣議決定された第3期がん対策推進基本計画で、がん対策の第1の柱に置かれた「がん予防」について、目標を持って健康的に過ごすための対策も含め、町として更なる展開は。

【質問】

胃がんのほとんどは、ピロリ菌が原因。胃がんのリスク軽減という考えから、ピロリ菌検査を人間ドックの内視鏡検査とバックで行えないか。

【答弁(健康児童課長)】

胃がんのほとんどは、ピロリ菌が原因。胃がんのリスク軽減という考えから、ピロリ菌検査を人間ドックの内視鏡検査とバックで行えないか。

## 入学時の全世帯的な援助を 【答】社会情勢等考慮し、検討は必要と認識

【質問】

経済的に厳しいとされる家庭への就学援助支給の前倒しが提案された。教育負担軽減という議論の中で、全世帯的な入学時の援助はあるのか。

【答弁(教育部長)】

新たに具体的な検討はない。全世帯を対象とする支援については、今後社会情勢等を考慮する中、検討していくことは必要と認識している。

## 田原川下流のごみ対策を

### 【答】京都府の事業と連携を図りたい

【質問】

田原川下流沿いの宇治木屋線が、ごみ捨て場所となりつつある。ごみの温床とならないよう監視カメラの設置、川の抜本的な清掃活動ができる体制を考えるが。

【答弁(建設環境課長)】

が、本町の環境保全のため、監視カメラや啓発看板の設置など、不法投棄を防止するための取り組みを進めたい。また、府事業の「不法投棄やつづけ隊」など、官民連携して取り組みたい。



今年度 健康対策事業  
「健康ポイントカード」



「街をきれいに」 田原川沿線道路の清掃活動

# 田原学童施設は年度内に完成を

## 【答】3月竣工に向け努力する

【質問】 田原学童施設の入札が予定より遅れたのはなぜか。本年度中に間に合うのか。

【質問】 が必要であったと反省している。3月竣工に向け、工夫しながら工期の短縮を図る。

【答弁(教育部長)】 設計業務発注後の工程管理に甘さがあった。余裕を持って事業が執行できるよう計画段階で工夫

【質問】 いまさら、甘さがあった、反省しているという答弁自体、認識が甘い。工期の短縮は、請負業者に過度な負担を強いるの



新築を持つ田原学童施設



今西久美子 議員

ではないか。

【答弁(教育部長)】 「認識の甘さや反省」の言葉では納得していただけないと思うが、年度内の完成に向け努力する。

## 新庁舎はもつとコンパクトに

### 【答】現在、精査中である

【質問】 新庁舎の土地代、建設費は、それぞれいくらか。

【質問】 用地費は、南北線の不動産鑑定額と同等か。

【答弁(プロジェクト推進課長)】 土地取得は平成30年度を予定しており、答弁は差し控える。建設費はパブリックコメントでの住民の意見を基に最終の精査をしている。

【質問】 大きな差はないと考えている。

【答弁(プロジェクト推進課長)】 延床面積4700㎡は、他市町と比べて広すぎる。コストダウンを図るため、コンパクトに。

【答弁(プロジェクト推進課長)】 民に納得いただけるものにする必要があると認識終の精査をしている。住 している。

## 総合的な福祉センターの建設を

### 【答】必要性は認識している



老人福祉センター「やすらぎ荘」

に制限がかかるため、考えていない。

【質問】 将来的に総合的な福祉センターが必要では。

【答弁(副町長)】 「福祉のまち」実現のため、総合的な福祉センターの必要性は認識しているが、福祉が抱える課題やニーズを的確に把握し、将来的な財政状況を見据えた中で整備が重要と考える。

【質問】 やすらぎ荘を福祉センターとして、だれでも利用できるようにしては。

【答弁(介護医療課長)】 利用範囲を拡大すれば、現在の利用者の利用

# 庁舎移転に伴い役場支所の設置を

## 【答】支所設置に向け前向きに検討したい

【質問】

新庁舎建設に伴う不便

解消に向け、証明書等の

コンビニ交付も検討され

ているが、端末操作に疎

い高齢者や現庁舎に長年

親しんできた地域への配

慮として、当分の間、現

庁舎付近に役場支所を設

置してはどうか。

【答弁(町長)】

庁舎移転後の激変緩和

措置として、例えば現保

健センターを活用するな

ど、役場支所の設置を考

えていた。庁舎移転後当



老朽化進む現役場庁舎



谷口 整 議員

面、役場支所が設置でき

るよう、庁内検討チー

を立ち上げ、前向きに検

討していきたい。

## 学力の向上及び教育委員会の透明化を

## 【答】厳しい結果と教育委員会の在り方も整理

【質問】

本年4月に実施された

小6・中3年生が対象の

全国学力テストの結果、

8問題すべてが全国平均

を下回っていた。校長会

との懇談会でも「今回の

結果は由々しき事態」と

の発言もあったが、教育

委員会の認識及び対応

は。

【答弁(教育部長)】

この厳しい結果に教育

委員からも強い危機感を

示された。学校への計画

訪問に加え教職員研修の

実施や、他市町村の情報

収集など学力の向上に向

け取り組んでいる。

【質問】

教育委員会会議規則で

は、委員会は公開すると

の規定があるにも関わら

ず、定例会での議論の大

半は非公開である。

また、報告事項は議事

録も残していない等

教育委員会の旧態依

然とした閉鎖体質に

も課題があるのでは。

【答弁(教育長)】

他市町村の教育委

員会も参考に、教育

委員会の会議の持ち

方を整理していき

たい。

## 入札不落続発と入札制度見直しを

## 【答】積算適正化と電子入札導入等制度改善に努める

【質問】

湯屋谷茶工場改修工事

や田原児童育成施設改築

工事で、入札不落事案が

連続しているが原因は。

また、府下の大半の自治

体では入札の透明性・利

便性等から、入札予定価

格の事前公表や電子入札

等を導入しているが、入

札制度見直しの考えは。

【答弁(副町長)】

限られた予算の中で利

便性の多くを求めたこと

や、最近の建設資材や人

件費高騰により入札不落

となった。また、入札制

度の見直しについては電

子入札の順次導入や、

国、府、近隣自治体の状

況を把握する中で、適正

な入札、契約に努めてい

く。



校長会との懇談風景

# 特定空家の課題は

## 【答】まちづくりを考えるうえで重要である



馬場 哉  
議員

【質問】

空家調査をもとに今後

は、利活用の空家対策と

並行して、安心安全のま

ちづくりの観点から、特

定空家問題の解決が重要

では。

【答弁(企画財政課長)】

町内に142件空家が

あることを把握し、この

うち、放置すると周辺の

住環境に悪影響を及ぼす

恐れのある「特定空家候

補」が15件。一方で、特

定空家の撤去等にあた

り、行政に強い権限

が付与されることか

ら、判断については、

慎重かつ厳密な基準

が求められる。現在、

法に基づき「空家等

対策計画」を策定中

である。

【質問】

住民の安心安全を

図り、お茶の里にふ

さわしい景観の保全

となるようなもので

なければならぬ。

また、特定空家の撤

去等については、補助金

等の支援策を講じて促進

を図る必要があるので

は。

【答弁(企画財政課長)】

建物の老朽化・衛生・

景観・生活環境の保全の

4つの要素を踏まえ検討

し、判断基準策定後はこ

れに基づき対応を行う。

空家は本来、所有者の責

任により管理をされるこ

とが大原則であるが、撤

去等については、支援制

度も考慮していきたい。

【質問】

発達支援サポートネッ

トワークを構築し、今後

は療育マネージャーを配

置し、支援の質の向上が

必要では。

【答弁(健康児童課長)】

専任担当者を配置する

ことはできないが、関係

施設等とも連携を図りな

がら支援を行っていく。

【質問】

先天的な発達障害にお

いて、ライフステージそ

の時々適切な支援の方

法の引き出しを、「まち」

として広げることが重要

だと考えるが。

【答弁(健康福祉部長)】

出生して保育所、小・

中学校、高校などを経て

社会に出てからの支援策

も関係機関と連携して実

践していく。

## 本町の療育の進め方は 【答】研究を重ねニーズに添えていく



特定空家等現地調査の様子

出展：「特定空家等の判断に係わる現地調査」(国土交通省)  
(<http://www.mlit.go.jp/common/001204424.pdf>)



療育教室が行われている保健センター

# 緑苑坂、高齢者の足の確保は

## 【答】昼間の利用促進として検討

【質問】

緑苑坂の高齢者の足については、これまでも質問・要望してきたが、緑苑坂は、唯一の人口増加がある一方で、高齢者も増加している。認知症予

防の観点から、外出は、臨牀的にも有効だ。応援のバス回数券の発行は買

で一旦下車し、宇治行に

乗車後、再度運賃を払う

現状がある。担当課の見

解は。

【答弁（建設環境課長）】

朝の通勤通学時間帯に

は宇治方面への直行便が

ある。町営バスは、交通

空白地域の補完のため運

行しており、利便性向上

と路線バスの利用促進が

目的である。町営バスの

乗り入れで路線バスの減

便や利用者の減少は本末

転倒の施策となる。昼間

の利用促進策として検討

し地域公共交通会議でも

議論する。

【質問】

ことぶき大学・戦没者



原田周一  
議員

追悼式などは送迎用の車

があるが、それ以外の行

事には、足の確保がなさ

れていない。高齢者が戸

外に出る機会があるの

に、会場まで行くことが

できない状況である。町

はどのように考えている

のか。

【答弁（副町長）】

住民参加のものは日曜

日などの休日開催が多

い。移動手段として、徒

歩や自家用車での参加と

なり、駐車場の確保が絶

対条件となる。町営バス

は平日のみの運行である

ので各種イベントの関係

課及び主催者と共有し状

況に応じた対応を促す。

## 介護サービス提供の分析は

### 【答】訪問看護は不足

【質問】

65才以上の高齢化率は

28年度27・2%から29年

度28・5%になった。訪

問看護・介護の現状は。

【答弁（介護医療課長）】

訪問介護・看護につい

ては利用が伸びている

が、介護は不足していな

い。看護は町内事業所

1ヶ所で行うににくい現

状でサービスが不足と分

析している。

【質問】

介護保険の意義は「介

護を社会全体で支えあう

仕組み」である。第6期

保険基準額は年6万5千

円と周辺市町と比べ高い

が。

【答弁（介護医療課長）】

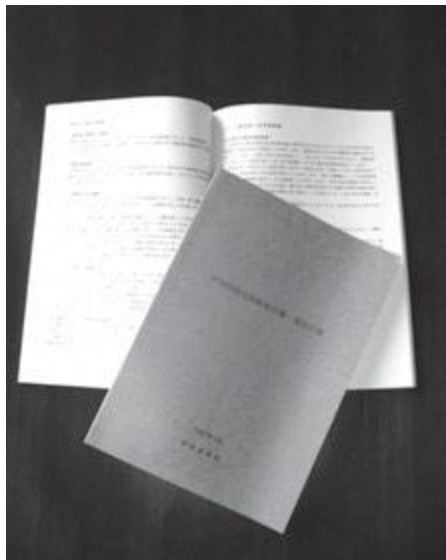
介護予防の充実・支援

で保険必要の時期の遅延

や重症化しない予防の効

果を高めることが重要と

考える。



高齢者介護福祉計画



通学利用の路線バス

# 研修報告 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、平成29年10月18日・19日、子育て支援施策（長野県南箕輪村）、健康長寿施策（同県松川村）について視察研修を行った。

## 長野県南箕輪村

10年間で保育園児が約200人増加

子育て支援施策として、保育料・長時間保育料、放課後児童クラブ利用料引き下げを段階的に実施。

医療費無料化を高校3年生までに。療育施設など子育て施設の充実、就学資金助成制度、相談室

や病児病後児保育料の無料化など、施策に取り組み中で、口コミが広がり、人口増につながっているとされる。

子ども館

妊娠期から18歳までの子どもと保護者への切れ目のない支援を目指す、南箕輪村版ネウボラとして子ども館を建設・設置する。



長野県南箕輪村

◆子ども館  
妊娠期から18歳までの子どもと保護者への切れ目のない支援を目指す、南箕輪村版ネウボラとして子ども館を建設・設置する。

## 長野県松川村

男性長寿日本一の村

◆子育て女性再就職トータルサポート事業  
女性が活躍しながら子育てできるむらづくりを推進。地域の働き手の増加、出生者数の増加につながる。

◆健康増進事業

総合病院が30分圏内に4か所、開業医院も村内に12か所あり、病院に行きやすい環境。特定健診に加え、特定保健指導にも力を入れ、健診の結果説明会を開催。夜や夫婦

合施設。

◆子育て女性再就職トータルサポート事業

女性が活躍しながら子育てできるむらづくりを推進。

地域の働き手の増加、出生者数の増加につながる。

◆健康増進事業

総合病院が30分圏内に4か所、開業医院も村内に12か所あり、病院に行きやすい環境。

特定健診に加え、特定保健指導にも力を入れ、健診の結果説明会を開催。

夜や夫婦

での参加もでき、保健指導率はH27年度で82%にも上る。中でも保健指導員の存在は大きく、地域ごとに持ち回りで選出された保健指導員がおられ、健診申込書を各世帯へ配布し、受診の呼びかけ、健康教室の開催を活動としている。また、食生活改善推進協議会員の減塩運動をはじめとする活動の成果は大きい。

◆介護予防事業

介護認定を受けていない方への健康体操、水中運動教室、2次予防対象者への訪問、地域での教室への誘いなども保健指導員の存在が大きく寄与している。信州大学医学部、村地域連携協力により、科学的に調査をしている。

◆視察での所感

今回研修に訪れた南箕輪村村長の子育てに対する熱い思い、また、松川村村長の健康長寿日本一を目指すという強い思いがそれぞれの施策につながっていると感じた。「子どもは町の宝」という思

いは本町も同じ。子育て支援、また、誰もが生きがいを持ち健康長寿をめざして暮らせるよう、施策の充実を推進していきたい。



長野県松川村

## 城陽市

### 《子育て支援センターを視察》

12月14日、城陽市の子育て支援センター「ひなたぼっこ」を訪問。木のぬくもりを大切にしている建物。ほどこよい広さの遊戯室やセキユリティーへの配慮など、館長の熱い思いが感じられた。本町の子育て支援センター建設の参考にした。



# 研修報告 議会運営委員会

## 先進地視察、議運では初の実施

議会運営委員会では、議会基本条例制定後、初めての視察研修を実施した。平成29年10月25日・26日、議会改革で平成26年度全国町村議会特別表彰を受賞された鳥取県日南町、住民との懇談会を、政策提言に活かしている岡山県奈義町の両町議会を訪問した。

### 鳥取県日南町

鳥取県の西南部に位置する日南町は、本町の5

倍以上の面積を持つ、自然豊かな山間部で、古くから森と共に生き、林業が栄えた町である。

#### ◆主な取り組み

平成16年から段階的に議会改革に取り組み、

#### 鳥取県日南町

本会議のテレビ中継、録画放送の開始、委員会、全員協議会の公開、HPに議事録、執行部の反問権など実施。

平成23年から、さらに議会

改革の調査特別委員会を設置され、①情報公開(議

会報告会、意見交換会の開催、議会テレビ中継)、

②組織運営(議会基本条例の制定、タブレット端末の導入)、③政策立案

(議員発議の助成制度など実現)。

#### ◆視察での所感

高齢化比率も高く、早くから町の将来を危惧し、町議会もいち早く議会改革に取り組んでいる。

平成26年度の全国町村議会特別表彰を受賞され、その後は年間60回の視察を受入れるなど、視察受けが一部地域振興と連動している。

政策立案にあたって、議員研修には力を入れており、視察研修以外にも

全議員により、大阪での議員研修にも参加している。

町当局と町議会の実態に応じた先見性とその努力は敬意に値する。

### 岡山県奈義町

岡山県北東部で津山市に隣接する奈義町は、美しい自然に囲まれたところで、子育て・医療・福祉などのライフステージに合わせたサービスが充実している町である。

#### ◆主な取り組み

町議会はしっかりと議論をし、行動する議会をテーマに議員の資質を高める努力と、住民の声に耳を傾けて、例えば議会が提案して多くの意見書を出している。

「住民と議会との懇談会」は、住民の声をかす議会にと、開催されて

いる。出された意見は、できるだけそのまま町長に提出。テーマは都度決めている。

懇談会の成果は、住民要求実現の力になっている。

全国的に稀な「議員定数の下限」の設定はこれ以上に減らすと議会機能が果たさなくなるためである。

◆視察での所感 「子育てするなら奈義

町で」などの宣言が町内に発信され、子育て支援が充実している、その効果は特殊出生率にも表れており、非常に高い。

議会運営の基本に、かつ達な討議、行動する議会といった考え方があり、住民の意見を吸上げ、行政に提出、意見反映されている。これらも大いに参考にすべきである。



岡山県奈義町



## 意見交換会報告

## 文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、11月24日に久保宇治田原小学校校長、森下田原小学校校長、吉原維孝館中学校長の3校長と学力テストや小中一貫教育などについて意見交換を行った。

各校校長から意見交換会の場合は、教育状況をアピールできる機会であること、それを受け、議会で反映できるものは反映し、学校教育全般の推進に取り組んでいくとエール交換を行った。

学力テストの結果を受け、各校長から「学力テストの結果については、ゆゆしき事態であると思っているが、実際にどの程度の差があり、どう縮まったのかを伝えられないのは残念である。子ども達が力をつけるために克服すべきことは何段階もある。その上で学力

をつけることが大事であるということは、全教職員的一致した意見であり、それぞれの教師がモチベーションを高く持ち、力量を発揮できる落ち着いた雰囲気で授業に取り組める環境を作っていく事が任務であると認識している。課題を教員で共有しながら研究・実践を進めているところである」との話があった。

「地域との協働は他のまちなない誇りであり、児童・生徒



学校長との交換会

## 住民と議会の懇談会を開催します

「議会報告会」は、平成24年度に制定された議会基本条例に基づき、議会改革の一環として5回実施いたしました。それぞれの段階で新しい取り組みで意義もあったものの、疑問点や問題点もみえてきました。

この間、議会運営委員会を中心に、視察研修などを行い、議員協議会でも議論を重ねてきた結果、先進地の事例も参考に、以下の「住民と議会の懇談会」の実施を、ワークショップ

（ワールドカフェ形式）で、参加した方が気軽に意見交換できるように、試行的に実施することにしました。今回の懇談会の参加者については、町内の各種団体をお願いし、各団体の代表としてではなく、一住民として参加していただく形式をとらせていただきます。したがって一般公募はいたしませんのでご了承ください。

日時 平成30年2月12日(月・祝)午後2時～4時

場所 総合文化センター研修室1

テーマ

人口を増やすために

参加者

消防団、商工会、区長会・生産森林組合  
社会福祉協議会、PTA、老人クラブの6  
団体を通じてお願いした方

議会懇談会の目的は、開かれた議会をめざし、皆さんの生のご意見をお聞きして、議会審議や政策提言などに活用させていただくことにあります。

もり やま こう へい  
守 山 航 平 さん



成人式を迎えられた皆さんを代表して、実行委員会委員長の守山航平さんにインタビューしました。

Q. 成人式を迎えての感想は

A. 成人という人生の節目を宇治田原町で迎えることができ嬉しいです。宇治田原町は小さい町ですが、その分知り合いの方も多く、地域の方々にもお祝いいただき、温かくて嬉しい気持ちになりました。

Q. 夢または将来挑戦したいことは

A. 大学で差別や格差など社会学を学んでいますが、知らないことがまだまだたくさんあり、もっと勉強して世間に学んだことを伝えていきたいと考えています。

Q. 宇治田原町に望むことは

A. 帰省するごとに新名神高速道路建設工事や、新庁舎建設事業など変化を感じています。宇治田原町のよさは残しながらも、新市街地開発など発展もして欲しいと思っています。

Q. 趣味は

A. 本を読んだり映画を観たりすることと、旅行が好きです。去年は念願がかない友人と2人でアメリカへ行きました。また、青春18キップで2日かけて九州まで行ったこともあります。

Q. 選挙に対する心構えは

A. 昨年秋に衆議院選挙があり、神戸から帰省して投票しました。自分も含め、ニュースなど周りの情報に流されて投票先を決めておられる方が多いと思いますが、自分の意見を持った上で投票していきたいと思っています。





(昭和 16 年ごろ)



維孝館門の今昔

(平成 30 年1月 10 日)



成人式にて



高尾の縁たたき (阿弥陀寺)

次回議会の予定  
 〈3月定例会〉  
**3月5日(月)開会日**  
 詳しい予定はHPにて  
 お知らせします。

新年を迎えるにあたり、各々のご家庭で定番行事があります。大掃除や餅つき、おせち作り、しめ縄の飾り付けなどが代表的なものでしょうか。

また、新年を迎えると初詣や年始に出かけたリ、地域の行事に参加されることも。

地域行事は年を経るごとに伝統行事となり、地域に溶け込んでいきます。いま本町は新名神高速道路建設、山手線整備、新庁舎建設など以前から計画されていた古くて新しい事業が目白押しです。後世に課題が残らぬよう取り組んでまいります。

本誌、議会へのご意見、ご感想をお寄せ下さい。

広報編集副委員長 浅田